

# 派遣留学生帰国報告書

\* 帰国(復学)後の情報を入力してください

記入日	2020/11/1
所属学部・ 研究科・学府	千葉大学法政経学部
所属学科・専攻	法政経学科

## 1. 留学先について

留学先大学名	York St John University											
留学先所属学部等	なし											
留学期間	出発日	2019/9/14	入学日	2019/9/16	修了日	2020/5/22	帰国日	2020/3/25				
住居	大学(紹介)の寮・アパート	<input type="radio"/>	民間アパート	<input type="radio"/>	その他( )							
	通学時間	15-20分				On campus						
	通学方法	徒歩										
	居室スペース	<input type="radio"/>	個室	( )	人部屋	<input type="radio"/>	その他( )					
	共有スペース	<input type="radio"/>	完全個室	<input type="radio"/>	キッチン	<input type="radio"/>	トイレ	<input type="radio"/>	バス	<input type="radio"/>	リビング	<input type="radio"/>
食事	自炊	<input type="radio"/>	%	学食	%	外食	%	その他	%	( )		
保険	海外旅行保険(名称)	AIG損保										
	派遣先大学指定の保険(名称)							<input type="checkbox"/> 強制加入				
	その他											
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)											
	羽田 ⇄		ロンドン(飛行機)			⇄ ヨーク(列車)						

## 2. 留学にかかった費用について

総費用	120万 円						
出どころ							
自費	貯金	10万 円	アルバイト	円	その他	円	
援助	両親	50万 円	家族・親戚	円	その他	円	
奨学金	JASSO	月8万 円	その他名称( )	円			
その他	その他( )	円					

## 2-1. 財政管理の方法

渡航時	現金	5万 円	その他 ( )	円
留学中	海外送金	キャッシング	○	その他 ( )

## 2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	
住居にかかった費用	
その他	

## 2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			25万	円
海外旅行保険				円
OSSMA				円
査証・在留許可証				円
住居			50万	円
食費			月1-2万	円
通学に要する交通費			なし	円
教科書、教材費				円
その他大学に支払った経費				円
光熱費				円
その他 ( )				円
その他 ( )				円
その他 ( )				円
その他 ( )				円

## 3. 学業面

履修科目名	種類 <sup>ex.正規、聴講</sup>	単位数	単位互換認定申請の有無		
			○	有	無
1 War and Society	正規	20	○	有	無
2 Introduction to War Studies	同	20	○	有	無
3 History, Film and Television	同	20	○	有	無
4 War and the Media	同	20	○	有	無
5 Gothic and Horror Film (Film Studies)	同	20	○	有	無
6 Origins of the Second World War	同	20	○	有	無
7				有	無
8				有	無
9				有	無
10				有	無

## 3-1. 授業科目の選択、登録方法

ポータルを通じて希望科目を申請。結果はオリエンテーション期間に分かる。授業開始から2週間までは科目を変更することが可能で、その場合は専用の窓口に行き書類をもらう。特に1学期は窓口が非常に混雑しており、場合によっては1時間近く待つこともあった。授業の希望者が多い場合は正規生が優先されるため、留学生は抽選に外れる可能性が高い。

1学期につき3コマ受講する。多くの授業は週に2回あり、レクチャーとディスカッションで分かれている。レクチャーは大人数だが、ディスカッションは10人程度に分かれる。宿題を出されることはなかったが、特に留学生は指定された文献を事前に読みこまないと追いつけないと思う。歴史学部の授業は特に指定される文献の数も分量も多かったように思える。評価は多くの場合はレポートで、2000×2か5000ワードが指定された。また、3年生レベルの授業は筆記試験もあった。

## 3-3. 語学力について

いいたいことはなんとか伝えられるが、ほとんど聞き取れないため会話が成り立たない状態から始まった。また、私の場合は留学生がほとんど受講しない授業を選択してしまったため、ネイティブの学生に混じって授業を受けることとなった。ただ、逆に非ネイティブが一人であったため、先生方からも生徒からも多大な配慮を受けた。授業は週に2回あり、一回はレクチャーで二回目はディスカッションだった。読み書きはかろうじて出来たため、ディスカッション時は予習をして事前に話すことをなんとなく決めていた。

## 3-4. 図書館など学内施設について

蔵書数は千葉大より少ないと思う。しかし、電子書籍が充実していたため、特に問題はなかった。毎週授業で使う分をコピーしていた。

## 3-5. その他

## 4. 生活面

## 4-1. 住居について

個室は与えられていたが、キッチン・シャワー・トイレは共同。ただし別の寮は構造が違った。私が住んでいたのはLimes Courtだったが、主に留学生と1年生が住んでいた。キッチンの設備に特に不満はなかったが、冷蔵庫が小さく、またあまり性能が良くないのかしょっちゅう野菜が腐ったりかびたりしていた。ただし、学校側に連絡したところ新品のものと取り替えてもらったので、私の住んでいた寮の冷蔵庫だけの問題だった可能性もある。また、急にお湯が出なくなるハウスもあった。そのような意味では日本にいるときより故障トラブルが多かったように思える。私の住んでいたハウスは居住者が全員女性であり、また、そこまで騒がしいと思うことはなかったが、ハウスによっては連日パーティーをしているところもあった。

## 4-2. 食生活について

基本的には自炊をしていた。日本に比べると特に野菜や果物は圧倒的に安かった。周辺に複数のスーパーマーケットがあったが、一番安いASDAか品揃えが豊富なMorisonsを利用していた。徒歩20分ほどかかるので1週間分まとめて買うことが多かった。また、市内にはアジアショップがあったので醤油や米はそこで調達していた。忙しいときは学食を利用していたが、1食700円近くするため極力避けていた。

## 4-3. インターネット環境、携帯電話について

学内・寮内ともにWi-Fiがあったため、Simカードを買わない人もいた。3ギガ分のSimカードを学校からもらうことが出来、そのまま契約を延長して使っている人が多かった。私はVOXIを使っていた10ギガで15ポンド程度だったと思う。ユーロ圏内であればどこでも使えるので便利だった。ただ、田舎に行くと途端に使えなくなることがあった。

## 4-4. 服装について

ヒートテックとタイツは必須。スカートは厳しいと思う。ただ、室内に入ると暑い。現地の人は半袖にコートを着ていた。雨が多いので撥水性があるものやフード付きのものを選ぶといいかもしれない。

## 4-5. 健康管理について

少なくとも周りで一度も体調を崩さなかった人はいなかったと思う。特にインフルエンザや食中毒にかかる人が多かった。公立の病院は平気で8時間近く待たされるので、保険を使って私立病院を利用した方がいいと思う。

## 4-6. 保険、OSSMAの利用について

発疹がでたため、保険会社に連絡をして病院を紹介してもらった。ヨーク内にはすぐ受診できる病院がなかったため、薬局でオンライン診療をうけた。結局機器の不具合で受診できなかったが、保険会社の対応は迅速だったため、特に不満はない。

## 4-7. 課外活動について

私はJapanese Societyに参加していたが、だんだん行かなくなっていった。代わりにStudent Unionが週1で行うバドミントンに参加していた。また、学内の教会で行われる英語教室のようなものに通っていた。実際の活動はゲームをしたりおしゃべりをしたりすることが多く、堅い雰囲気は一切なく参加しやすかった。

## 4-8. 学外のコミュニティとの交流について

学校近くの教会で行われるI: Connect Caféに参加していた。他大学の留学生と交流できる良い機会だった。また、友人に誘われてリーズの在英日本人が運営されているイベントに月一で参加していた。基本の活動は聖書を読んでディスカッションを行うことであったが、そこまで堅いものではなく、おしゃべりに近かった。

## 4-9. 日本から持参してよかったもの

電子辞書・ヒートテック・クロックス(部屋も土足のため)・包丁(安いものは切れ味が悪い)・弁当箱(大きいものであればタッパーがイギリスでも手に入るが、私は小容量のものを望んでいたため)・エコバッグ(袋が有料)・折りたたみ傘(イギリスにももちろんあるが性能はあまり良くない。毎日持ち歩くので軽いものを日本で買った方が得策。また風が非常に強いので丈夫なものが良い)・防寒具(中東欧や北欧に旅行するつもりなら必須)・小さいキャリーバッグ(格安航空でも使えるサイズのもの)・洗濯ネット(洗濯機の威力が強すぎてファスナーが壊れたりした)・リンス(硬水のせいか髪がボサボサになる)・メイク落とし(イギリスはリキッドタイプがなかった)・化粧水乳液(イギリスにはなぜかない)・充電器(寒すぎて電池の減りが早い)・変換プラグ(欧州のものも含めて)・炊飯器・歯ブラシ(イギリスのものは大きい)・専攻分野の基本書(予習の助けになる)

## 4-10. 日本から持参したが不要だったもの

衛生用品(日本で言われるほど質は悪くない)・カイロ(重いので大量に持ってくるべきではなかった)・コート(重いのであまり着ない。イギリスでも安く手に入る)・ヘアアイロン(現地でも1000円くらいで入手可能)・ノートやルーズリーフ(日本で言われるほど質は悪くない)

## 4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

日本でもよく言われることについては確かに違いを感じたが、それを除けば特に顕著な違いを感じたことはなかった。ただ、非常に歴史を大切にしていることが感じられた。現地の歴史を少しでも調べておくと失礼なことをいわずにすむと思う。特にアイルランドやスコットランドではその傾向が強く見られる気がする。

## 4-12. 余暇の過ごし方

## 旅行

・ベルギー(課外活動)2019年11月 旅費は約3万それ以外にお土産代や施設代など  
 ・ドイツ&チェコ&オーストリア&ロンドン(観光)2019年12月から1月 友人と調整しながら払ったため不明  
 ・ブルガリア&セルビア&ハンガリー&ルーマニア(観光)2020年1月 不明  
 ・アイルランド(観光)2020年1月 不明

その他 \* 気分転換やストレス発散法など。

散歩・友人とご飯・スポーツ

## 5. その他

### 5-1. 留学先大学について

大きな大学ではなかったが、多様な授業があり、自分の興味に合わせて受講することが出来た。教育学部が強いときいた。町に近いので、非常に過ごしやすく飽きなかった。

### 5-2. 留学希望者へのアドバイス

私は留学生の中では相当英語力が低かったと思いますが、周りの配慮もあり大きなトラブルもなく過ごすことが出来ました。現時点での英語力は留学するか否かを決定する上での材料にすべきではないように思えます。留学した際は、もちろん英語を使うことも大切ですが、日本人の友人を作っておくと何かあったときも気軽に助けを求められることが出来るかと思えます。また、特に3年時に留学をすると就職活動の時期とかぶってしまうかと思えます。3月から6月の時期を逃すと就職活動の難易度が途端に上がりますので、留学前から対策しておく方が良いかと思えます。就職活動を考えるとできるだけ早い時期に留学することを勧めます。

これは完全に私の努力不足ですが、英語力は結局そこまでつかなかったかと思えます。ただ、留学を通じて心境が変わり、元々は卒業後は就職する予定だったのですが、結局は院進することになりました。そのような意味で、留学することができてよかったと思っています。特に、いろいろな国や地域を訪れ、様々なバックグラウンドを持つ人たちと話せたことが心境の変化につながったと思っています。